

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	障がい児通所支援事業所 ぼのぼの			
○保護者評価実施期間	令和7年1月10日		～	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数)	7
○従業者評価実施期間	令和7年2月1日		～	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	8
○訪問先施設評価実施期間	令和7年1月10日		～	
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	11	(回答数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月17日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ネットワークが構築されており、事業者、学校、保育園、幼稚園、市役所、相談支援事業の連携がスムーズである	対象になる児童に対して保育所等訪問の必要性を一緒に考えたり受け入れ先への説明や受け入れに対して、各関係機関が連携を取りながら、保育所等訪問支援を実施出来ている。	保育所等訪問支援に関して市内の関係機関には認知されているので更なる連携強化を目指していく。
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援員の育成 訪問支援員の数が足りていないので、事業所都合で保育所等訪問を行なっている。	OJTを通じて、訪問支援員の育成を図っている。訪問支援員に関しては誰でもできるわけではないと考えているので、発達支援に長けている職員の育成が必要である。	OJTを通じて、次世代の訪問支援員の育成を図っていく。現訪問支援員との現場実習、研修会等でのスキル向上など、訪問先に有益な情報提供と見立てが出来るような職員の存在を増やしていく。
2			
3			